

新会員紹介

オーディオメーカーHIFIMANについて

株式会社 HIFIMAN JAPAN

運営企画部 湯 嘉斐

HIFIMAN は、早くからハイレゾオーディオの重要性に着目したオーディオ企業のひとつです。他から際立たせていることのひとつは、Fang 氏(創立者)をはじめとしてチームの皆の献身と情熱にあります。

HIFIMAN was one of the first audio companies to focus on the importance of high-res audio. One thing that sets HIFIMAN apart is the dedication and passion of our team and that starts with Fang.

1. HIFIMAN とは

HIFIMAN は昨年、一般社団法人日本オーディオ協会の会員となりました。今回、新会員紹介ということで HIFIMAN を紹介する機会をいただきましたので、HIFIMAN 会社案内パンフレットから紹介させていただきます。

HIFIMAN とは、端的に言えばオーディオファンから一般のリスナーまで、さまざまな価格帯とライフスタイルにあった製品を幅広く提供するオーディオメーカーを設立するという Fang Bian 博士の情熱の結果と言えます。

HIFIMAN は Fang Bian 博士がニューヨークに住んでいた 2007 年に創設した会社です。彼は有名なポータブルオーディオ愛好家で、また科学者やビジネスマンでもあります。HIFIMAN の前身は Head-Direct というウェブストアで、ヘッドフォンオーディオをカバーする世界最大のオーディオコミュニティのひとつである Head-Fi で大きな役割を果たしていました。



彼は若い企業家が性能と価格の両面において斬新な新製品を市場に投入する期が熟したということを感じ取り、HIFIMAN ブランドを 2017 年に設立しました。この時点から彼はすべての時間と労力を開発中の製品に注ぎ込みました。2011 年には中国南部に二つの工場を開設し、その後に本社を現住所である中国の天津に移転させました。

2. その始まり

Fang 氏は若いころ海外の音楽に魅了され、また同様にポータブルオーディオ機器、特に SONY Walkman にも夢中になりました。

前時代的なトランジスタラジオよりも、ポータブルプレーヤーから音楽を聴くと音が良くなるという事実に導かれ、Fang 氏はポータブルオーディオ機器の収集を始めました。やがて彼はポータブルオーディオ分野のエキスパートとして知られるようになりました。

今日の多くの音楽ファンやオーディオマニアと同様に、Fang 氏はポータブルオーディオ機器の音質がホームオーディオシステムと比べるとかすんでしまうということに不満を抱くようになりました。



HIFIMAN 創業当時

「90年代初頭に、両親は私に最初のカセットプレーヤーを買ってくれました」と Bian 博士は述懐します。「私はすぐにさまざまなイヤホンが違うように聴こえることに気がきました。実際、かなり違ったのです。より高価なものは必ずしも安い製品より良く聞こえるわけではなく、時にはそれほど良くないことさえありました。私はそれがなぜなのか、と不思議に思いました。私がこれに気付いたとき、私はいつの日にか、より良い音質をより手ごろな価格でヘッドフォンを作る方法を見つけようと心に決めたのです。

音楽体験を向上させたいという、そうした彼の若き日の誓いを実現するために、Fang 氏は当時の同等の製品よりも優れていると思われるイヤホンの原型の開発を始めました。これで Fang 氏はビジネス面と次のレベルに進むために必要なことについての貴重な経験やヒントを得ました。

オーディオマニアの注目を集めた初めての HIFIMAN 製品は HE5 平面駆動型ヘッドフォンです。高コストな金型を避けるため、そして当時は販売量が少なかったため、彼は HE5 のイヤークップを無垢材で作ることにしました。また木材を使用したことは品質を重視するサインでもあり、HIFIMAN HE5 をハイエンドヘッドフォンとして位置づけました。

HE5 に対する市場の反応は、売り上げの多さと批評家の絶賛という両面でかなり熱狂的なものでした。それに応じて、HIFIMAN はすぐに生産量を増やしました。しかしその手作りという性質のためにコストがかかり困難なものでした。

今日、HIFIMAN は高性能ヘッドフォンとポータブルオーディオを最も多く開発したメーカーのひとつとして一般的に認識されています。Fang 氏と彼の開発チームは次世代の製品を見据えながらも、現行品を改良する方法を日々研究しています。

弊社のコスト度外視で最高を求める設計思想は大きな革新をもたらしました。最高級のリスニング体験を提供する二つの真空管方式の静電型ヘッドフォンシステム、Shangri-La と Shangri-La Jr.です。

ごく最近になって、弊社は Jade II を発売しました。これは単独で購入することも、外部アンプ付きのフルシステムの一部として購入することもできる、革新的な静電型ヘッドフォンです。

3. まとめ

HIFIMAN の人々はオーディオショウに参加するために世界中を旅しています。それが Fang と彼のチームにとって真の市場要求を知るための唯一の手段だからです。代理店やヘッドフォン愛好家、出版社そして日々音楽を愛好する人たちと直接会う以上に重要なことはありません。

最後に、JAS ジャーナルにて、HIFIMAN を紹介する機会をいただき、ありがとうございました。12年以上の革新的な製品開発と市場での成功がありましたが、HIFIMAN はまだ始まったばかりです。我々にぜひご期待ください!

執筆者プロフィール

湯 嘉斐

2009年4月に中国から日本へ留学し、日本での日本語学校と大学を経て、2015年に株式会社HIFIMAN JAPANに入社し、日本で会社の責任者として営業活動しています。